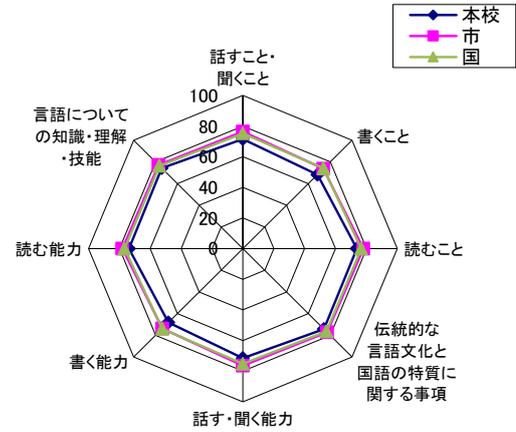


宇都宮市立宝木中学校第3学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

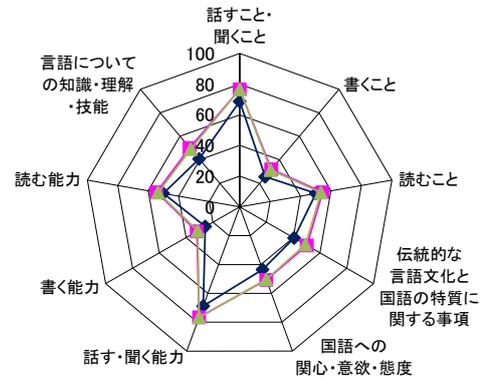
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	71.5	76.4	75.2
	書くこと	68.3	73.7	73.9
	読むこと	73.8	78.0	76.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	74.2	77.2	76.5
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	71.5	76.4	75.2
	書く能力	68.3	73.7	73.9
	読む能力	73.8	78.0	76.7
	言語についての知識・理解・技能	74.2	77.2	76.5



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	68.8	76.5	76.6
	書くこと	25.6	31.9	31.3
	読むこと	50.1	54.5	53.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	40.7	50.2	49.2
観点	国語への関心・意欲・態度	43.4	50.6	50.3
	話す・聞く能力	68.8	76.5	76.6
	書く能力	25.6	31.9	31.3
	読む能力	50.1	54.5	53.5
	言語についての知識・理解・技能	40.7	50.2	49.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>全体的な正答率はA、Bともに市と県の平均を下回っている。</p> <p>○「話し合いの話題や方向を捉える」ことは市と国平均を上回っている。</p> <p>●「話題や方向を捉えて的確に話す(聞く)」という内容で、話題や方向性を捉えることはできて、発信する面で力不足である。</p>	<p>・今後も定期的に聞き取りテストを行う。</p> <p>・聞き取るポイントを捉える上で、メモの取り方が問題であると考えられる。大切な用語だけを聞き取り、記号を用いて話の流れをつかむことに力を入れた授業内容を増やす。</p> <p>・聞き取ったポイント(メモ)をもとに、原稿をおこし、伝える内容を授業に取り入れる。</p>
書くこと	<p>全体的な正答率はA、Bともに市と県の平均を下回っている。</p> <p>●特に「全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すこと」が低い。</p> <p>○「伝えたい事実や事柄が相手にわかりやすく伝えるように書く」ことは国平均と同じくらいである。</p>	<p>・「書くこと」の単元指導内容を工夫し、強化する。</p> <p>①感想や意見を書く際に、一文で書き表す指導を取り入れ、書くことへの抵抗を和らげる。</p> <p>②自分の感想や意見を支える根拠を付け足すパターンを定着させる。</p>
読むこと	<p>全体的な正答率はA、Bともに市と県の平均を下回っている。</p> <p>●「段落相互の関係や段落の役割などに気をつけて内容を読み取ること」が低い。</p> <p>○登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することは国平均と同じくらいである。</p>	<p>・昨年度から引き続き、文脈や論の展開に気をつけて読み取る力が不十分なので、接続語や修辞法(レトリック)に重点を置いた指導法を継続する。</p> <p>・伏線にポイントを置いて心情や内容を読み取る授業内容を取り入れる。その際、登場人物の心情や、場面、背景を捕らえるポイントを理解させる。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>全体的な正答率はA、Bともに市と県の平均を下回っている。</p> <p>●漢字の書きは、やや劣る。「語句の意味を踏まえて文脈上の内容をつかむ力」が不足している。</p> <p>●身につけた語彙力を活用する力が不足している。</p> <p>○漢字の読み、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すなど、基本的なこと、は国平均と同じくらいである。</p>	<p>・語彙力を定着させるための課題(漢字ノート)を出しているもので、継続していく。また、その理解度を確認し、間違いや不足部分を補う個別指導を行う。</p> <p>①漢字、文法は毎時間2、3題テストをして、理解度を確認する。</p> <p>②慣用句、ことわざ、四字熟語、故事成語などは、フラッシュカードを用いて反復学習をさせる。</p> <p>③身につけた語彙力を活用する授業内容を増やす(短文作りなど)</p>